

## 令和3年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立池雪小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・(低) 紙粘土など様々な素材に触れ、自分なりの表し方を表すことができた。
- ・(中) コロナ禍の中で作品展の展示方法が変わったことが題材研究につながり、児童が進んで試行錯誤して作品作りに取り組むことができた。
- ・(高) 黒板に活動の流れ等を掲示することで、多くの児童が見通しをもった活動ができていた。

#### (2) 課題

- ・想像力を働かせて工夫することが難しい児童への手立てとして、題材に対して想像する時間をしっかりとる。
- ・生活経験などの差による技能の差が見られるために、各学年で系統立てて道具を用いる題材を行い、様々な道具を経験させる。
- ・題材に対する姿勢や進め方に差が見られるため、楽しく進んで主体的に活動に取り組めるよう児童同士の交流や鑑賞を行う。

### 2 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
材料に触れる時間を取り、感触などを確かめて特徴を知ったり、用具の使い方をしっかりと指導したりする。それによって、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。	身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるように、製作前にイメージするものを交流させたり、完成後だけではなく、製作中にも交流を行ったりする。	楽しく表現するために、完成物を見せることで製作の過程をイメージできるようにする。また、交流でお互いの作品の良い点を認め合うことで、製作の楽しさをより味わえるようにする。

#### (2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
見たり、触れたりして作品の特徴を捉えさせるようにする。身近にある材料や用具を使って、自分なりに表し方を工夫して作ったり表現させたりする。	身近にあるものから自分の見方や感じ方を広げられるよう、自由な発想を認め、交流させる。自分が表現したいことや表し方などについて考えさせ、助言・指導していく。	完成のイメージや、制作する際の参考になるものを提示し、すすんで授業に取り組めるようにする。鑑賞の際には、お互いの作品のよい点を認め合うようにし、次回の活動への意欲を高めていく。

#### (3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
工具の使い方を基本から確認する指導をし、中学校美術・技術へつながる基本的な技術を身に付けさせ、材料や用具の活用の仕方、表し方を工夫できるようにする。	制作の際に、題材において意識するポイントを、鑑賞の視点と統一させて、自分の見方や感じ方を深められるようにする。思いが伝わるような言葉の表現方法を助言・指導する。	見通しをもち主体的に制作に取り組めるようにするために、活動の流れを視覚化し、作品の構想に生かせるよう、制作途中で互いの作品を鑑賞する時間を設ける。